

## 1 ゼミの種類は？

春休み中に、1年生の時に学んだ課題研究のことを思い出したり、「Discover Insight Memo」を活用して自分の興味関心の持てる具体的な内容が書けたら、その内容が、学術的にどの分野に相当するのかを明らかにして希望を出しましょう。この学術的分野のことを、出雲高校では「ゼミ」と呼んでいます。次の表はそれぞれのゼミを示したものです。

理数科	物理	化学	生物	地学	数学
普通科理系	数理情報学	物質科学	生命・食農	生活科学	
普通科文系	地域共生システム	環境エネルギー	多文化共生システム		

私たちが普段気付く身近な問題は、実に多方面から研究することができます。例えば「つまづく」という問題について、校内でつまづかないようにするにはどうしたらいいかをテーマとして考えるとしましょう。つまづいてしまうのは運動不足による足腰の弱さかもしれません。スリッパの構造の問題かもしれません。また、廊下の材質の問題の可能性もあるでしょう。運動不足の面から研究するのであれば生物学や生活科学、スリッパの構造であれば物理、廊下の材質の問題であれば化学や物質科学といったゼミからの研究ということになります。自分が興味関心を持った分野はどれでしょうか。該当するゼミの種類を決めましょう。どのゼミに興味があるかが決まりましたら、「課題研究」研究分野（ゼミ）希望調査票（pp.55-56）に記入し、提出しましょう。この希望調査に基づいて、同じゼミを希望する人と班を組み、この後の調査・研究活動を進めることとなります。班の人数は4～6人程度です。

## 2 グループ研究で大切なこと

研究には個人で進める個人研究と、班で進めるグループ研究の2種類があります。個人研究は、自分の好きな分野について自分のペースで研究を進めることができます。反面、一人の研究のため、複数の実験や調査などが同時にできない効率の面でのデメリットもあります。グループ研究は効率が良いのがメリットであり、一人では気がつかなかった異なる視点からアイデアを出すことも可能です。反面、班員それぞれがもつ興味が異なるため、班員全員が納得して、自分のこととして捉えることができるテーマを設定することがとても難しくなります。ですから、出雲高校では自分の興味関心があることを正確に相手に伝え、他の班員の希望も聞きながら、皆で納得するテーマを決定するテーマ設定の期間を大切にしています。ぜひ、班員と意思を伝え合い、理解し合う時間を積極的に持ちましょう。意見の食い違いがあるかもしれませんが、お互いが理解するためには重要な

プロセスです。自分のしたいことと相手がしたいことは100%一致することはありません。自分が興味を持ちながら、相手の興味も損なわずに皆で意欲的に研究を進めるためには対話が必要です。ここでの姿勢と身についた力は将来必ず社会で役に立つ重要な資質となります。

### 3 班が決まったら

希望調査をもとに新しい班が決まりましたら、いよいよテーマについて話し合いをします。文献調査やその分野を体系的にしっかり学びながら粘り強く、時間がかかってもよいです。納得するまで話し合いましょう。班員の意見を集約しながらテーマを設定していくためのツール（pp.58-60 様式 1-2,3,4）を活用したり、1年SS探究基礎で学んだ内容も活かしながら次の流れでテーマをしっかり定めていきましょう。